

【平成26年第4回定例会 環境委員会委員長報告資料】

平成26年12月17日 環境委員長 林 浩美

- 「議案第152号 浮島2期廃棄物埋立処分場薄層散布設備基幹的整備工事請負契約の締結について」

《審査結果》

全会一致原案可決

- 「議案第167号 平成26年度川崎市下水道事業会計補正予算」

《主な質疑・答弁等》

\* 企業債償還元金と減価償却費との差額に対する企業債について

下水道事業債の元金償還期間が30年であるのに対し、下水道処理施設の減価償却期間の方が長いことから、元金償還金と減価償却費との差によって、構造的に資金不足が生じる。そのため、平成16年度に国が資本費平準化債の制度を設け、当該資金不足についての起債が認められるようになったものである。

《審査結果》

全会一致原案可決